

ほけんだより 3月

令和7年3月3日
高向小 ほけんしつ
おうちの方と読もう!

「三寒四温」という言葉を聞いたことはありますか？寒い日が3日続いた後、暖かい日が4日続くという意味の言葉です。3月はこのような気温の変化が多く、朝晩の気温差も大きくなる時期です。自分で調節できるように脱ぎ着しやすい上着を着てくるなど、服装を工夫しましょう！



1年間、健康に過ごせたかな？

今年度も残りわずかです。1年間の生活を振り返ることで、自分の成長に気づき、それが自信につながりますよ。できていることはこれからも続け、できていないことはこれから意識して取り組みましょう。

よくできたなら◎、まずまずできたなら○、あまりできなかったなら×をつけてね。



はやねはやお 早寝早起きができた



すきらいをへらせた 好き嫌いをへらせた



げんき うんどう 元気に運動した



かえ あと てあら 帰った後、手洗い・うがいがした



しょくご は 食後に歯をみがいた

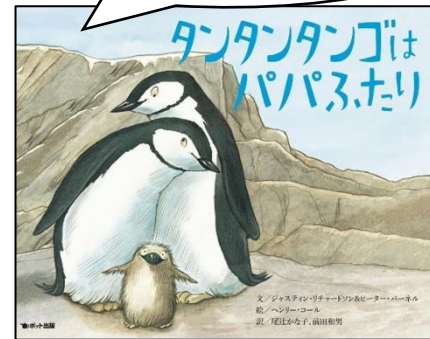


とも なかよ 友だちと仲良くすごした

さまざまな性のあり方～4年生 性教育～

4年生の保健では、思春期にあらわれる変化を学習します。保健の教科書には、「思春期になると心にも変化があらわれ、異性のことが気になったり、仲良くしたいという気持ちが高まりました。」と書かれています。しかし、異性を好きになる人ばかりなのでしょうか。

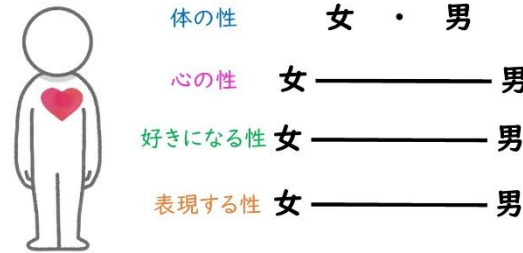
絵本を読みました



動物園では、動物のお父さんとお母さんが子どもを育てています。しかし、ペンギンのタンゴ家族は少し様子が違っていました。タンゴにはロイとシロという2匹のお父さんがいます。ロイとシロはどちらもオスのペンギン。お互いに気に入って、カップルになったのです。

これはニューヨークにあるセントラル・パーク動物園で実際にあった話をもとに書かれた絵本です。

4つの性



人の性には、「体の性」「心の性（自分が実感している性別）」「好きになる性」「表現する性（服装・髪形など、自分が表現したい性別）」の4つの要素があるとされています。異性が好きになる人や「体の性」と「心の性」が同じ人が多くいる一方で、同性を好きになる人や「体の性」と「心の性」が同じでない人もいます。

みんながみんなのためにできること

- ・人の【性別】を決めつけない
- ・LGBTの人を【探す】ようなことはしない
- ・いろいろな【性のあり方】があつていいという考え
- ・【差別的】な言葉を使わない(オカマ、オネエなど)



性格や好きなことが人それぞれであるように、性のあり方（自分の性別をどう感じるか、誰を好きになるかなど）も人によって違います。大切なのは、みんなが自分らしくいられることです。

全員が過ごしやすいクラスにするために、自分ができること・気を付けることを子どもたちにも考えてもらいました。出た意見を一部紹介します。

- ・人が傷つくことはしない。(からかう、おかしいと言うなど)
- ・オカマなどの言葉(さまざまな性のあり方について理解が広まっていなかった時代に、性のあり方の違いを否定する意味で使われた差別的な言葉)を使わない。
- ・【授業の感想】性別は人それぞれなんだと思った。見た目決めつけてはいけないと分かった。